

科目名	保育実習指導 I - 2					単位	1.0
担当教員	井上 薫・藤林 清仁						
授業形態	演習	開講期間	随時	配当年次	3	授業番号	7009

●授業のテーマ

保育(施設)実習のための準備と、実習後のふりかえり

●到達目標

保育(施設)実習を円滑に進めていくための知識・技術を修得し、学習内容課題を明確化するとともに、実習体験を深め、自己課題を明らかにする。

●学習内容(授業概要)

保育実習 I -2<保育士課程必修>は保育以外の児童福祉施設での 10 日間の実習である。先に行った保育所実習で学んだ成果をふまえて、施設養護に携わる保育士としての指導技術や知識を習得することをねらいとする。

具体的には、①実習施設の機能や役割について理解する、②利用児童の生活および児童を取り巻く環境について理解を深める、③保育士の役割について理解し、児童観を確立すること、を内容とする。

なお、本実習は、3 年次後期に行われる。本授業は、保育実習 I -2 で学びを深めるためにセット履修をする科目である。

テキストに基づいて授業を進めるので、テキストを必ず用意すること。テキストを用意する意思のない者は、履修の意思のないものとして扱う。

●学習内容(授業計画)

前年度の後期より継続

2 年次 9 月 オリエンテーション

実習先希望届

県内は 12 月、1 月の調整会を経て 3 月に最終決定

3 年次 4 月～事前指導(学外講師の指導を含む)

5 月 関係書類提出

10 月 実習(10 日間)

11 月 事後学習(反省会)

1. オリエンテーション
2. 実習の意義・目的
3. 実習の計画の意義、作成方法
4. 実習の内容(乳児院)
5. 実習の内容(児童養護施設)
6. 実習の内容(障害児系施設)
7. 実習の記録
8. 実習の計画の見直し、完成
9. 実習の心構え
10. 実習のふりかえり、自己課題(1)学んだこと
11. 実習のふりかえり、自己課題(2)これからの学びの計画

●準備学習・事後学習の内容

実習計画書、実習報告書などに準備・事後学習として取り組むこと。

●成績評価方法・基準

事前・事後指導の課題への取り組み（60%）、実習の考察（総括）（40%）などによる。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『保育士をめざす人の福祉施設実習』、著者名：愛知県保育実習連絡協議会『福祉施設実習』編集委員会、出版社：みらい、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

特になし。

●履修上の注意

必ず「保育実習Ⅰ－２」と併せて履修すること。テキストを必ず用意すること。必要な諸手続、必要な報告を行なわない者は履修中止とし、不合格となる場合がある。また、履修態度に問題がある場合には、「保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲ」の履修を認めないことがある。授業に欠席・遅刻しないこと。